

公益財団法人 大阪国際交流センター

名称	公益財団法人 大阪国際交流センター	
英文名	Osaka International House Foundation	
代表者	理事長 藏野 芳男	
所在地・連絡先	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号 TEL:06-6773-8182	
設立年月／地域国際化協会認定年月	昭和62年2月設立／平成2年1月認定	
基本財産／年間予算額	200,000千円／179,715千円	
会員制度	個人会員 メイト8名9口(年会費1口3千円) 一般24名29口(年会費1口1万円) 特別 2名(50万円・終身) 法人会員 24社34口(年会費1口10万円)	
役員数／職員数	13名(常勤1人)／16人(固有5人、嘱託8人、臨時2人、JICA推進員1人)	
国際交流施設の概要	大阪市所有、延床面積13,967㎡、昭和62年9月開館(平成26年度より民間が運営)	
民間国際交流団体とのネットワーク	KIV-NET(Kansai International Volunteer Network) 関西国際交流ボランティアネットワーク会議 71団体(うち市内17団体)	
定期刊行物	アニュアルレポート(年1回)	
主な出版物	「大阪の国際交流史」(日本語・平成3年)、「入門国際交流」(日本語・平成5年)、「実践国際交流」(日本語・平成10年)、絵本「にむの木の村」(日本語・ベンガル語・平成15年)	
平成28年度 主要事業	インフォメーションセンターの運営	インフォメーションカウンターやホームページなどを通じて、在住・来阪外国人や市民を対象に、センターの事業をはじめ、国際交流・協力やボランティア活動に関する様々な情報提供・発信を行っている。 ●インフォメーションカウンター●海外新聞・雑誌コーナー●国際交流情報・図書コーナー●インターネット・PCコーナー●カタログスタンドコーナー●情報交換ボード●各国大使館・領事館・文化交流センター等PRコーナー●外務省プラザ●アイハウスボランティア「交流スペースS・L」 予算額: 3,516千円
	多様な媒体を活用した情報発信	●ホームページ●多言語メールマガジン(週1回)●Facebook 予算額: 492千円
	災害時における外国人支援ネットワーク整備事業	大規模地震等の発生に備え、行政や地域国際化協会、NGO/NPO、市民ボランティア等と協働で、外国人住民の生命財産を守る仕組み作りを行う。 ①大阪市の関係部局と連携して、大阪における災害時の外国人対応についての仕組み作りを行うため、継続的に協議し、提案を行う。 ②既存の防災マニュアルの検証、近畿における広域的支援のための近畿CLAIR合同の研修会の実施(年1回)、防災、危機管理に関する研究会への参加(年4回程度) ③市担当部局(危機管理室、経済戦略局)及び外国人集住地域を有する区、社会福祉協議会とのネットワーク強化、課題の共有による防災システムの検証、「大阪市防災アクションプラン」の反映を行うための災害時外国人支援連携会議の開催、実証訓練の実施、マニュアル作成。 ④アイハウス・ボランティア災害時通訳・翻訳登録者研修の実施(年1回) ⑤区役所等地域で実施される防災訓練に参加(年1～2回)※ アイハウス・ボランティア研修会と連動させ、対象者の拡大・充実をめざす。また、昨年度の訓練のマニュアルに従い実施し、問題点の検証。検証結果を踏まえたより充実した防災訓練の実施 ⑥ 在住外国人を対象とした防災学習会の開催(年1～2回) 予算額: 947千円

公益財団法人 大阪国際交流センター

外国人のための「一日インフォメーションサービス」	200千円(分担金) 外国人の生活に密接に関係する在阪の諸機関・団体の協力のもと、多言語による情報提供・相談窓口を1日開設する。相談内容 法律、人権、出入国・在留、労働、職業、保険年金、生活、市政、税金、医療、歯科、薬剤、進学、子育て、その他 対応言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語(年1回) 【平成28年度】 平成28年6月26日(日)
日本語学習支援リーダー育成研修事業	センターが実施する各日本語教室活動ボランティアを対象に日本語指導等のスキルアップを図るため、年4回程度を開催 【平成28年度】 平成28年10月～11月(予定) 予算額: 229千円
未就学・ダイレクト向け日本語・学習支援教室	外国にルーツを持つ就学前の子どもを対象に、小学校生活がスムーズにスタートできるよう、小学校で必要な日本語や学校のルールを保護者とともに学ぶプレスクールの実施。及び小学生～中学生の日本語・学習支援の教室を開催。 【平成28年度】 プレスクール 平成29年1月～3月(予定) 週1回 13:30～15:00(全8回) こどもひろば 通年 毎週月曜 17:00～20:30 予算額: 1,023千円
アイハウス日本文化理解・交流サロン	外国人を対象に、日本の伝統文化、生活文化を体験する教室を開催、講師には専門家のほか、各種技術・技能をもつボランティアが担当。 また、今年度から中学生・高校生を対象として、グローバル人材育成の一環として日本文化を理解したうえで英語で伝えることができる人材を育成する機会も提供する。 伝える和文化①基礎編②実践編③応用編 【平成28年度】 外国人対象:平成28年7月たこ焼きづくり教室、10月陶芸体験教室、11月茶道教室、12書道教室、1月生け花体験教室、3月のり巻き弁当教室(予定) 中学生・高校生対象:平成7月～9月 予算額: 1,220千円
ワン・ワールド・フェスティバル for Youth	市民が気軽に参加できる国際協力のお祭りを開催し、シンポジウム、セミナー、ステージ、民族料理、NGOや政府機関等の活動紹介など多彩な内容を展開することにより、市民の国際感覚の醸成と国際協力に対する意識の向上を図る。 【平成28年度】 平成28年12月23日(金) 予算額: 2,374千円
NPO等とのネットワーク連携事業	外国にルーツをもつ子どもを対象にした日本語学習支援の分野で活動を行う大阪府内のNPO団体等との連携を進めるとともに、外国人支援分野のNPO団体等との連携を深め、外国人を●で支える体制を整える。 「外国にルーツをもつ子ども支援ネットワーク大阪会議」 「外国人母子支援ネットワーク」 「国際交流協会ネットワークおおさか」 予算額: 354千円
アイハウスカルチャーセンター	日本人、外国人を問わず、「外国語」を通して、交流したり、気軽に各国・地域の文化や習慣などを知ることができるサロンを実施。 <語学編> ①英語サロン ②中国語サロン ③韓国語サロン <カルチャー編> ①English Yoga 英語によるヨガ教室。ヨガを楽しみながら、英語に親しむ機会の提供。 ②英語で料理教室 予算額: 901千円
アイハウス国際交流塾	グローバル化の進む国際社会の中で活躍できる「人財」の育成を図るため、国際交流・協力、多文化共生などの基礎的な知識と、コミュニケーションツールとしての語学を学ぶ場を提供。 ①韓国編(全8回1コース)②中国編(全8回1コース) 予算額: 272千円

公益財団法人 大阪国際交流センター

<p>外国人コミュニティ連携事業</p>	<p>多文化共生社会を目指す中で、その一翼を担う当事者である外国人とともに、NPO、行政等が一堂に会し、現状認識を行うとともに、外国人のニーズを把握し、その課題を整理するため、意見交換会を定期的開催する。</p> <p>①外国人コミュニティー委員会(年10回程度) 事業の方向性を議論する有識者、実践者、当事者からなる委員会。現状を踏まえ、今後に向けた事業展開について検討する。</p> <p>②外国人Committee(年5回程度) 今年度から外国人Committeeを立ち上げ、H27に実施した「教えて！あなたのやりたいこと」に参加した外国人の中からCommitteeのメンバーとしてセンターと協働してくれる人を募り、協働プログラム開催に向けて活動する場とする。</p> <p>③外国人との協働プログラムの実施(年2～3回) ②のメンバーを中心に、H27に実施した「教えて！あなたのやりたいこと」に参加した外国人たちのやりたいことをプログラム化するため、センタースタッフがサポートしながら、日本人ボランティア等との協働を通して実施する。</p> <p>予算額：3,324千円</p>
<p>国際交流のための日本文化理解講座</p>	<p>コミュニケーションツールとしての語学や、相手の国の社会的背景や文化を知ることも必要であるが、それ以上に自国、日本の文化やその背景を相手に伝え、理解してもらうことも重要であり、グローバル人材育成の一環として自国の文化を学び、理解し、英語で伝える講座を開催。</p> <p>①伝統文化コース ②伝統芸能コース ③特別講演会 ④閉講式</p> <p>【平成28年度】 平成28年6月～平成29年2月 予算額：3,203千円</p>



16一日インフォ1



インフォメーションセンター



ワン・ワールド・フェスティバル_for_Youth